



町立図書館は、1970年（昭和45年）11月に「町民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的に開館し、今年で34年を迎えます。図書館の建物は、1929年（昭和4年）に役場庁舎として建てられ、75年目を迎える貴重な歴史的建築物です。



あなたの書齋 町立図書館。

図書館は、本館での貸出業務をはじめ、いろいろな行事や資料展示会などの各種サービスと、地域ステーションを巡回する移動図書館による貸出などを行うみなさんの書齋です。

町民一人あたり 7・1冊

図書館の開館当初の蔵書数は、7千541冊で、町民一人当りの蔵書数は0・4冊でした。平成16年3月末現在では、約13倍の9万6千608冊に達し、町民一人当たりの蔵書数は7・2冊となっています。絵本、児童書、文学書、実用書、CD・ビデオテープなどの視聴覚資料など内容も豊富になりました。

平成15年度の蔵書貸出数は、9万4千503冊で、町民一人当たりでは、年間7・1冊借りたこととなります。

開館からの貸出数の累計では、平成16年3月末現在250万8千冊となっています。

乳幼児から高齢者までサービスいろいろ

親子で開こう絵本のとびら。ブックスタート事業が今月から始まります。

ブックスタートは、「赤ちゃんと一緒に絵本を楽しもう。お母さんと赤ちゃんが絵本で喜びをわかちあおう」という呼びかけで、1992年にイギリスで始まりました。

斜里町では、平成16年1月

1日以降に誕生した赤ちゃんと保護者を対象に、肌のぬくもりを感じながら言葉と心を通わず、そのかけがえのないひとときを「絵本」を介して持つことを応援する運動として、図書館司書・保健師・ボランティアの連携により今月からスタートします。

ブックスタートの方法は、町保健課が実施する乳児健診（7カ月）の会場で、健診の合間を利用して、司書が赤ちゃんに絵本に触れることの大切さを説明しながら、一人2冊の絵本を贈り、ボランティアの協力により絵本のよみ聞かせを上演する予定です。

乳幼児・小学生を対象としたサービス

えほんクラブ

0歳から就学前までの乳幼児を対象に、斜里町に住所を有し、加入登録された家庭に2週間ごとに絵本をお届けしています。

「おはなしの花ばたけ」

毎週土曜日の午前と午後の2回、図書館2階の「おはなしさんるーむ」で行っています。読み聞かせは「ボランティアサークル・しゃぼん玉」の皆さんのご協力で行っています。

子どもビデオ上映会
視聴覚資料を活用し、4月から隔月で、年6回開催しています。主に小学生が対象です。
催しもいろいろ

図書館ロビー一坪展
町民の絵画、書道、写真、その他趣味や研究等の幅広い作品や町民に喜ばれる資料等の展示会です。毎月の展示内容は、本紙折り込みの「おじる通信」でお知らせしています。



9月のロビー一坪展は「リフォーム展」。永田美恵さん（文光町）の作品をお借りして、リフォームの本も紹介しました。

すてきな名前が付きました。

図書館の屋根にそびえる一坪ほどの望楼（ぼうろう）をご存じですか。四方が窓で四季を通して360度のパノラマが見渡せるこの望楼に、このたび名前が付きました。「風の道 星の部屋」命名して下さったのは、ドイツ文学者でエッセイストとしても活躍の池内紀（いけうち おさむ）氏で、なんと看板も氏の直筆です。階段の傾斜が急ですので、ご利用の際は必ず係員に声を掛けてください。



晴天のもと開催された今年のとしょかんまつり（9月5日）

お知らせ

蔵書点検のため

臨時休館になります。

11月22日（月）から26日（金）までの5日間、図書館でのすべての資料貸出と移動図書館車での資料貸出は、蔵書点検作業のためできません。また、作業期間中は斜里町ホームページで閲覧可能な「図書館蔵書検索システム」での閲覧もできなくなります。

蔵書点検は、図書館所蔵資料のすべての汚損・破損状態や紛失資料の有無を把握するために、利用者が来館している日常ではできない作業を集中して処理する特別整理で、一定期間休館して行わなくてはなりません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、返本は返本箱をお願いします。

古本市
町民の皆さんのご協力により寄贈された本や、図書館の保存期限の過ぎた雑誌などを有効に活用するため、「としょかん友の会」のご協力により、毎年、春と秋の2回実施しています。

図書館講演会
年一回、作家や図書館関係の方などを講師にお招きして開催しています。今年は11月中の開催を計画しています。
としょかんまつり
図書館をより身近に感じてもらおうと「としょかん友の会」の主催で、平成3年から開催しています。大型紙芝居や人形劇など乳幼児から高齢者の方々まで多数の皆さんがゆつくりと楽しいひとときを過ごしています。



くらべてみると見やすさは一目瞭然。

ご存知ですか 大活字本！

「大活字本（だいかつじぼん）」は、小さい活字が読みづらい方用に、大きき・行間・コントラスト等を考慮して、肉太の大きな活字で印刷された本です。図書館には、大活字本コーナーを設け、文学書を中心に約400冊所蔵しています。

図書資料を快適に、長く利用していただくために！

読みたい本がないとき
読みたい本が貸し出し中の場合は、予約処理を行い、返却され次第ご連絡します。所蔵していない本は購入、または他の図書館から借用していただきます。

本を返すときのお願い

・返却された本の間に「はがきなどの大切な書類」などが挟まっている場合があります。返本の際はもう一度ご確認ください。

・CD・ビデオテープ・カセットテープ等の視聴覚資料を返却するときは、ケースの中身やテープの巻き戻し状態を必ず確認してください。

本が破れてしまったとき

セロハンテープなどで補修して返却される場合がありますが、補修箇所が劣化してしまいますので、利用者は補修せず、返却時に係員に伝えてください。係員が専用の補修用品で補修します。

本を無くしてしまったとき

原則として弁償していただくことになっています。弁償方法は、利用者が同じ本を購入するか、本の購入額相当分を負担する方法によりります。